

2020. 1. 25

畑 啓之

まだ名も付いていない中国武漢発の新型コロナウイルスが世界を揺るがし始めている

WHO はつい先日までこのウイルスは世界的な脅威ではないだろうと言っていた。中国政府は、中国の正月に当たる春節の移動が多い時期であるにもかかわらず、武漢市を交通閉鎖し、市民の市外への移動を禁止する措置をとった。それにもかかわらず、中国以外の世界各国でもまだ人数は少ないながらも新型ウイルスによる患者が見出される事態に陥った。

右の神戸新聞記事によると、今回の新型ウイルスによる致死率は約2%となっている。ただし、これは発症者数（患者数）が少ない時の数字であるから、実際の致死率が分かってくるのはこれからである。（※ 次の記事からは、41/1300=3.2%である）

神戸新聞 2020.1.23

他のコロナウイルス感染症との比較

名称	新型肺炎	重症急性呼吸器症候群 (SARS)	中東呼吸器症候群 (MERS)
感染者が見つかった国・地域	中国、タイ、韓国など	中国、香港、台湾、カナダなど20カ国・地域以上	サウジアラビアやアラブ首長国連邦(UAE)など27カ国
感染源と疑われる動物	タケネズミ？ アナグマ？	ハクビシン	ラクダ
発生時期	2019年12月～	02～03年	12年～
致死率	約2%	10%弱	約34%

「日本の方が安全」感染拡大の中…中国人 70 万人来日 1/25(土) 18:04 配信テレ朝 news  
新型コロナウイルスによる肺炎は世界各地に広がっています。この 24 時間で新たにネパール、マレーシア、そしてフランス、オーストラリアでも感染者が確認されました。これまでに死者は中国で 41 人、感染者の数は世界で 1300 人を超えています。25 日からいよいよ春節ということで、中国からの観光客の移動が本格化しています。旅行先の一番人気とされる日本では対応に追われています。

2019 年-2020 年中国武漢における肺炎の流行 (Wikipedia) に示されている図である。最初の 6 日間の患者数は 41 名でその数に変化はないが、これが急激に増え、図に示されている 1 日後には 1300 人超となる。中国当局の現状認識に遅れがあったということだろう。

